



第18号

発行
成相山成相寺

京都府宮津市字成相寺339

TEL0772-27-0018

<http://www.nariaiji.jp/>

九州地方震災のお見舞を申し上げます

この度の九州地方で地震の被害に遭われた皆様、そして今なお余震の恐怖の中で復興に邁進なさっておられる皆様に、衷心よりお見舞を申し上げます。

成相寺の世話人をお願い致しております方々の中に益城町にご在宅の方が多くいらっしゃいます。ニュースでその地名を聞く度に、ドキドキして思わず手を合わせておりました。現在の所数名の世話人様よりご無事の御連絡を頂き、安堵致しております。毎日余震の恐怖の中でお過ごしのご様子や家屋の損害の大きさなど、お手紙を拝見して胸が痛みます。余震が収まっていくことを願って止みません。

「苦しいときの神頼み」ということわざがあります。ここで言う「神」とは「神仏」で仏様もちろん含まれます。いつもは見向きもしない神仏に、自分の都合で願いを掛けたりする、身勝手さを言い表したことわざですが、仏様、観音様から見ると、このことわざは如何なものでしょうか。

観世音菩薩様というのは我々衆生に寄り添ってその悲しみ苦しみを全て聞き取ってなんとか救おうとしてくださ

る仏様であります。我々が苦しいときに「そうだ、観音様、助けてください」とお願いした時、観音様はもうすでに我々の苦しみや悲しみを観ていてくださいます。ですから、観音様のお立場からすると「はい。思い出してくれましたね。見聞きしてますよ。苦しかったね。辛かったね。私はいつでもおそばに寄り添っていますよ」と、お答えくださっているのです。観音様は仏様の世界でも優秀な修行者で、人間の世界で例えますと、「観音君は成績優秀、ぜひ我が社の取締役になってください」と社長さんから言われても「いえ、私

は現場の仕事が好きです。部長職のままで勤めていきます」と、お答えになり、「如来」に上がらず「菩薩」のままで我々の近くに居てくださる仏様です。すから「苦しいときの神頼み」位の我々の身勝手はすでにお見通しです。

では、観音様やそのほかの仏様は我々に、どうして欲しいとお考えなのでしょう。か。

仏陀の教え「四諦」「八正道」を理論し実践し「中道」を行く心豊かな生活を送って欲しい。と思っておられます。難しいですね。

前回でも取り上げました「八正道」ですが、仏陀は「過去を追うことは無い。未来を思うこともない。過去はすでに過ぎ去り、未来ははるかかなたに

ある」「他人のすることや、しないことを観るべきではない。自分のすることと、しないことだけを観ましょう」と仰っています。過去の失敗を悔やんだり、他人と比べて悩み落ち込むのではなく、自分はどう生きるべきなのか考えましょう。今の自分に真つ向から向き合って、今を生きましょう。と、仰っています。

ですから「苦しいときの神頼み」も、その後に少し付け加えて「ほとけさんお久しぶりですが今、私大変です。苦しい悲しい。どうしたらいいのか解りません。でも、ちゃんと生活しています。自分のしないといけないことは頑張っています。どうか私を観てください。一人で頑張れないかも知れないので側にいて下さい」となると、これはことわざの自分勝手から解き放たれて、仏教徒としての、生き方に変わっていくのではないのでしょうか。

「今を生きる」色んな媒体で良く聞く言葉ですが、実は仏様からの大きなメッセージだったのです。それぞれに受取方も違い実践方法も違うでしょう。でも、しっかりと今を生きる事こそ、仏様への我々の御礼と成るのです。「苦しいときの神頼み」も時には良いでしょう。ちゃんとその後の実践が出来ていればです。

熊本では今も多くの方々が不自由を余儀なくされております。一日も早く安全な生活が戻ることを願って止みません。



山内順礼第十四回

「閻魔大王様」(十王堂)

今回は本堂向かって右側にありますお堂『十王堂』の中の『閻魔大王様』をご紹介します。

西国の札所ではこの閻魔大王様をお祀りされているお寺が多ございます。その昔、徳道上人という方が夢の中で閻魔大王様より「最近では地獄に墮ちてくる人が多い様です。生きているうちに修行をして一人でも多くの方が極楽に行けるよう、巡礼を広めてください。」

と、三十三の寶印をお渡しになったそうです。目覚めた上人は寶印があるのに驚きすぐさまに中山寺に行かれましたが、まだ機は熟して居らず、そのまま、寶印はお寺で眠っていたそうです。その後現在のよう三十三箇所の西国巡礼のお寺が定められ、善男善女の皆様方が巡礼をしてご修行を重ねられております。

現在、その徳道上人が寶印を授かってから千三百年になり、西国の札所では記念行事が行われております。西国のお寺にお参りに行かれましたら、閻魔様に「修行に励んでおります」と、お声かけしてお参りくださいませ。



寶印譲与の時



十王堂内 閻魔大王像

千日参り・施餓鬼のご案内



8月9日(火) 昼12時～、午後5時～

成相寺千日参りと申しますのは、八月九日にお参り致しますと千日分お参りしたのと同じご利益が頂けると、古来より千日参りとして多くの方がこの日にお参りくださっています。この日に施餓鬼法会も執り行いまして、お山は一日中賑わいます。

今年で二十五年目になりますが、この日に「柴燈護摩」を執り行います。山伏の装束の皆様が、開運厄除・健康を願う大きな護摩壇を設け、火を灯します。そして火渡りという、行者の修行体験もして頂きます。般若心経のお唱えの中、護摩壇の残り火の中を静かに歩いて心を清めて頂きます。めったに出来ない体験ですので、最近では夏休みの子供サークルの方やご遠方からもお越し頂いております。

護摩は十二時と午後五時と二度行いますが火渡りをして頂けるのは午後五時からです。

どうぞ、お参り頂いてこの貴重な体験をされては如何でしょうか。お待ち申し上げております。